

第10回 浜松シーティング勉強会 ～ABS--Active Balance Seating--セミナー～

“ABS”、聞いたことがありますか？

近年、各車いすメーカーにより、骨盤をサポートするなど、ABS を実現するアイテムが一般的な車いす（介護保険対応）にも導入され、高齢者などへの車いすの適合を考える上でも、大事な視点を与えてくれています。

しかし、その基になっている理論が、ABS 理論であるということは、ほとんど知られていません。ABS 理論は、北海道のリハエンジニア西村重男氏（右）と脳性まひや筋ジストロフィーなど厳しい障害を持つ当事者（ユーザー）と保護者との長年にわたるコミュニケーションと試行から見つけ出されました。



西村重男氏

「だっこ」のように、頭頸部、胸郭の重さを下から支え、姿勢を崩すモーメントを最小化にすることで、ユーザーが長時間座位をとっても苦しくなく、変形のリスクを減らすこの方法は、車いすや姿勢保持椅子上での活動性をも引きだします。

ABS 理論の車いすは、スリングシート、L型金具、ベルト、パッドで調整します。成長や筋緊張等から型合わせのときと身体条件が合わなくなるにもかかわらず、ある時点での身体条件に合わせてオーダーで車いすや姿勢保持椅子を作成してしまうのは非合理であるという発想から北海道で生まれた ABS は、世界に通用する普遍的方法論の一つと言えます。

知って、見て、感じて、さわって、学びませんか？

車いすを通して、ユーザーや保護者と会話が弾みます!!



日時：2017年11月19日(日) 10時～16時

場所：浜松市リハビリテーション病院 3階 大会議室

住所：浜松市中区和合町 1327-1

講師：西村重男氏 (ABS研究会代表)

ABS研究会 HP URL：<https://abs-hokkaido.jimdo.com/>

参加費：3,000円

定員：60名

申し込み：e-mail:hamamatsu.seating@gmail.com または ファクシリ：053-571-3617（鈴木宛）

記載事項：①氏名（フリガナ） ②連絡先 ③職種 ④分野（小児・身障・高齢者）⑤ユーザー

問合せ：e-mail: hamamatsu.seating@gmail.com

締め切り：11月10日（但し、定員に達したら受付終了します）

*会場への直接のお問い合わせは、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

主催：浜松シーティング勉強会